

THE LONGINES WORLD'S BEST RACEHORSE RANKINGS

The official listing of the world's best racehorses

(For 3yos and upwards which raced between 1st January 2016 and 9th October 2016)

オーサムアゲインステークス(G1)での堂々たる勝利により、カリフォルニアクローム **【133】** が第8回ロンジンワールドベストレースホースランキングにおいて、トップの座を維持した。

LONGINES World's Best Racehorse Rankings

Leading Horses

Rank	Horse	Rating	Trained
1	CALIFORNIA CHROME (USA)	133	USA
2	A SHIN HIKARI (JPN)	129	JPN
2	ARROGATE (USA)	129	USA
4	ALMANZOR (FR)	127	FR
4	WINX (AUS)	127	AUS
6	FROSTED (USA)	126	USA
7	MAURICE (JPN)	124	JPN
7	POSTPONED (IRE)	124	GB
7	WERTHER (NZ)	124	HK

オーサムアゲインステークスでは、カリフォルニアクロームは余裕のある競馬ぶりで、終始リードを保ち、G1 2勝馬ドルトムント【122】に2馬身1/4差を付け、制した。その前走となるパシフィッククラシックステークス(G1)では、昨年の米古馬牝馬チャンピオンであるビホルダーを5馬身差で降している。

同馬は今年6戦6勝と完璧な成績である。上記の競走の他にもドバイワールドカップ(G1)、サンディエゴハンデ(G2)、サンパスカルスステークス(G2)、トランスガルフエレクトロメカニカルトロフィーを制している。

オーストラリアではウインクス【127】がコルゲートオプティックホワイトステークス(G1)とコーフィールドステークス(G1)を制し、今月後半に施行されるコックスプレート(G1)の連覇に挑むべく順調に実績を積み重ねている。

牝馬トップであるウインクスは今年7戦7勝で現在12連勝中であるが、コックスプレートではハートネル【123】と対戦予定である。今回ランキング入りした中で目立った活躍を見せたのがハートネルで、現在オーストラリアで3連勝中である。同馬は直近ではターブルステークス(G1)を制しているが、9月にはヒルスステークス(G2)とチェルムズフォードステークス(G2)も制している。

一方、フランスではファウンド【123】が凱旋門賞(G1)を1馬身3/4差で制し、レーティングを122ポンドから123ポンドに上げている。この日のファウンドの勝利は、クールモアとエイダン・オブライエン調教師にとって忘れられないものとなった。僚馬であるハイランドルール【122】が2着、オーダーオブセントジョージ【120】が3着となったからだ。

ファウンドは前走の愛チャンピオンステークス(G1)ではアルマンゾル【127】とは3/4馬身差の2着であった。この2頭は土曜日の英チャンピオンステークス(G1)で再び対戦する予定である。この競走では昨年の覇者ファッシュネイティングロック【123】とも対戦する予定である。

凱旋門賞当日には、リマート【122】がフォレ賞(G1)を制し、レーティングを120ポンドから122ポンドに上げた。同馬は今年他にもジュライカップ(G1)を制している。

またアメリカでは、ソングバード【123】がコティリオンステークス(G1)を5馬身3/4差で制して、目覚ましい活躍を続けている。この勝利により、同馬はレーティングを122ポンドから123ポンドに上げるとともに、デビュー以来11戦して未だ無敗である。